

●財団だより●

第 31 回「総合リハビリテーション賞」受賞論文決定

第 31 回「総合リハビリテーション賞」受賞論文として、下記の論文が決定しました。受賞の方には賞金と賞状、並びに記念品が贈られます。

授賞論文 COVID-19 対策の外出自粛・行動制限期間にみられた通所リハビリテーション事業所利用者の Timed Up & Go Test の延長

The prolongation of Timed Up & Go Test measurements during the self-quarantine against COVID-19 in outpatient rehabilitation facility

受賞者 大石祐也¹⁾、谷口貴子¹⁾、小山哲男²⁾

1) 西宮協立デイケアセンターほほえみ

2) 西宮協立脳神経外科病院リハビリテーション科

掲載号 「総合リハビリテーション」50 巻 10 号 pp.1231-1237 (2022 年 10 月号)

本賞意義 株式会社医学書院発行の雑誌「総合リハビリテーション」の編集顧問・上田敏先生が 1993 年に退官されたおり、当財団へご寄付いただいた浄財を原資として発足。雑誌「総合リハビリテーション」に掲載された 1 年間の全投稿論文の中から、同誌の編集委員で構成される選考委員会で審議・選考、最も優れた論文が表彰される。

主催 公益財団法人金原一郎記念医学医療振興財団

後援 「総合リハビリテーション」編集室

公益財団法人金原一郎記念医学医療振興財団

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-28-24 IS 弓町ビル 7 階

TEL 03-3815-7801 Email info@kanehara-zaidan.or.jp

●財団だより●

2023 年度下期助成金募集のお知らせ

2023 年度下期助成事業を下記のとおり 4 種目について実施いたします。

応募受付期間：2023 年 11 月 1 日(水)～同年 11 月 30 日(木)。締切日必着。

(A) 第 8 回 生体の科学賞 (予算 1 件 500 万円)

内容：基礎医学医療研究領域における「独自性」と「発展性」のあるテーマに対して、現在進行しているもの、計画立案中など、現時点の状況は問わず、研究に要する費用への支援を目的とした助成金です。助成金の明細、使途、使用期限に関する制限は設けていません。所属の異なる複数の研究者による研究内容であっても、本助成金申請者が中心的役割を果たしていれば応募可能です。なお、助成金受領後 2 年以内に報告書を提出していただき、その後適切な時期に総説あるいは解説論文を雑誌「生体の科学」に掲載いたします。

(B) 第 38 回 研究交流助成金 (予算 200 万円)

内容：海外で行われる基礎医学医療研究に関する学会、研究会、セミナー等での発表の機会を有する方の渡航費、現地滞在費、ならびに参加登録費、ポスター費など、学会参加に直接的に関わる費用に対する助成を行います。物品購入や、論文作成費等には使用できません。口頭、ポスター、オンライン等、発表の方法は問いませんが、発表の機会が決定済み、もしくは申込(申請)中であることが必須要件です。2024 年 2 月末日現在 45 歳以下の日本国内在住の研究者(国籍を問わない)が対象となります。

(C) 第 38 回 留学生受入助成金 (予算 600 万円)

内容：基礎医学医療研究を目的として、海外から日本の教育機関・研究施設へ留学する大学院生、研修員に対し、研究費等の助成を行います。日本国内での留学期間が 3 年以上継続または継続予定であり、かつ、2024 年 4 月～2025 年 3 月まで研究に従事することが必須要件です。

(D) 第 37 回 研究出版助成金 (予算 100 万円)

内容：基礎医学医療研究成果の公表を目的とする自費出版に対する助成金です。

※詳細は当財団ホームページ (<http://www.kanehara-zaidan.or.jp>) をご覧ください。

応募はウェブエントリーのみです。当財団ホームページからユーザー登録していただき、該当の応募種目の応募書類をダウンロードして必要事項を入力、応募願います。



ウェブサイトはこちら

公益財団法人金原一郎記念医学医療振興財団

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-28-24 IS 弓町ビル 7 階

TEL 03-3815-7801 Email info@kanehara-zaidan.or.jp